

【トマト】ポンデローザ(固定種)トレーサビリティ情報

品種名：ポンデローザ（固定種）

品種の特徴

アメリカで作出され、1891年に日本に導入された、農産用トマトとしては日本最古の品種です。昭和時代のトマト畑や八百屋でおなじみだった品種のひとつで、今日のF₁トマトにはない、トマト特有の爽やかな酸味と香りが特徴で、全体的に味が濃厚です。市場流通量がほぼ皆無に近い、今となっては幻の「昭和トマト」で、忘れかけていたトマト本来の鮮烈な味を思い出させてくれる貴重な品種です。

栽培履歴情報

このトレーサビリティ情報の対象収穫期間

2022年9月4日から現在まで

使用肥料

肥料名称	施肥方法
植物性堆肥（ダイズユーキ）	元肥（土壌混込）
熔成リン肥（砂状）	元肥（土壌混込）
過リン酸石灰（粉状）	追肥（液肥土壌灌注・葉面散布）
硫酸カリウム（粉状；単一成分）	追肥（液肥土壌灌注・葉面散布）
尿素（粒状；単一成分）	追肥（液肥土壌灌注・葉面散布）
硫酸マグネシウム（合成結晶；単一成分）	追肥（液肥土壌灌注・葉面散布）

動物性肥料（人為的に生産されたもの）、硝酸性窒素（NO₃⁻）、アンモニア性窒素（NH₄⁺）、石灰窒素は一切使用していない、衛生的で環境に優しいヴィーガン施肥を実践しています。肥料成分だけでなく、肥料添加物にも配慮しています。

使用農薬

栽培地における、栽培者による使用（法令上の農薬使用責任を伴う使用）はありません。

但し、新規導入された種子には、種子生産者により、チウラムによる種子消毒が1回行われています。

※種子生産者による種子消毒のみの場合、法令上の栽培者の農薬使用責任はありませんが、リスク・コミュニケーション上の適切な判断が行われるよう、あえて開示していることをご理解ください。)

栽培管理責任者

井田 裕之（博士（農学））

栽培圃場およびその住所

ふなあん SEPC 能勢・ぎんぶなのうえん

大阪府豊能郡能勢町片山 186-1

E-mail hen-na-funa@agri.funaan.org